

## 平成28年度 沼田市地域公共交通会議会議録

- 1 日 時 平成28年5月24日(火) 13時51分～14時20分
- 2 場 所 沼田市役所北庁舎 4F 中会議室
- 3 出席者 五十嵐会長 外委員9名(別紙のとおり)
- 4 会議の概要

傍聴者なし。会議の結果は、沼田市公式ホームページ上で公開することについて確認。

定足数については委員14名中、10名出席であり、会議は成立した。

### (1) 協議事項

#### 1) 沼田市地域公共交通会議会長の職務代理について

##### ①内 容(「資料」8ページ)

沼田市地域公共交通会議の運営について設置要綱第4条第3項に「会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名した者がその職務を代理する。」と規定されているが、今まで指名が行われた経過がなかった。今後の会議運営をスムーズに行うため、会長から公共交通の担当部長である市民部長が指名された。

#### 2) バス路線「沼須線」に係わる地域内フィーダー系統確保維持計画について

##### ①計画内容(「資料」1～6ページ)

地域内フィーダー系統確保維持計画については、地域公共交通の確保・維持・改善のために、国庫補助の認定を受けるための計画。沼田市においては昨年度新設した「沼須線」がこれに該当し、運輸局から計画の認定を受けている。計画には3ヶ年の目標を記載しているが、補助金交付要綱の定めにより、年度ごとに計画の見直しと事業評価を行い、沼田市地域公共交通会議での審議が必要となるため、委員の方はご承知おき願いたい。

沼須線について、運行経路や運行時刻に変更はなし。沼田市委託路線の中では1、2を争う利用者がおり、通院など日常生活に欠かせない路線となっているため、路線の定着・維持に努め、交通弱者の移動手段を確保する必要がある。

計画を提出後、関東運輸局等との調整で表現などが若干変更になることもあるのでご承知おき願いたい。

### 【2) バス路線「沼須線」に係わる地域内フィーダー系統確保維持計画について質疑応答】

委員：交通弱者の移動手段として重要なので路線の継続をお願いしたい。

委員：利根中央病院の通院者数に占めるバス利用者の割合は。

事務局：直近の病院の通院者数は把握していないが、過去の病院からの情報だと年間外来通院数が238,077人であり、1日あたり約800人の計算である。沼須線は9月から3月迄の半年間で7,446人の利用があり、単純に1年間で換算すると14,892人利用があることになる。利根中央病院での降車割合は8割を超えるので、質問のあったバス利用者は約12,000人くらいではないかと推察される。

委員：利用車両の乗車率はどのくらいか。

事務局：13人の乗りの車両を使用しており、資料6ページに沼須線の運行実績を掲載しているが、一往復あたりの平均利用者は5人を超える計算である。時間帯によっては乗り切れないこともあったが、運行契約により運行事業者が代替車両を用意するため、運行に支障はでていない。

### 3) その他

特になし。

#### 〈協議結果〉

2) バス路線「沼須線」に係わる地域内フィーダー系統確保維持計画について、質疑応答の後、諮った結果、異議なく原案のとおり承認された。

※ 1) 沼田市地域公共交通会議会長の職務代理については、会長の指名により成立するため、承認は求めている。